



ふぉーゆうだより



第21号

平成30（2018）年6月発行

日頃から大変お世話になっております。
昨年度の“ふぉーゆう”の事業の実施結果などについてお知らせします。
今後ともどうぞよろしくお願いたします。

● 新公所「栃木県障害者総合相談所」に生まれ変わりました！

平成30年4月1日、とちぎリハビリテーションセンターの病院や施設は地方独立行政法人に移行しましたが、相談支援部は「栃木県障害者総合相談所」として独立し、現在の場所で新たな県の機関となりました。

「栃木県障害者総合相談所」となっても、これまでと同じく障害のある方への相談支援や障害に関する普及啓発及び各種研修会の開催等の業務を行っていきます。また、今後は「障害者の自立と社会参加」をさらに推進していくため、地域における支援機関・支援者の育成、専門性を活かした助言・援助等にも力を入れていきます。

「栃木県障害者総合相談所」が一日も早く皆様に親しまれ頼りにされるよう、これまで以上に専門性を高め、相談・支援を行っていきますので、よろしくお願いたします。

発達障害者支援センターふぉーゆうも、今までどおりの場所で事業も変わりなく実施していきますので、安心して御活用ください。スタッフ一同、今後一層皆様に親しまれるよう頑張っていくと思っています。何か、心配なことがあるときは遠慮無くスタッフに御連絡ください。

● 県ホームページに移行しました！

県のホームページに「栃木県障害者総合相談所」のページが新設されました。併せて、「栃木県発達障害者支援センターふぉーゆう」のページも県のホームページに移行しリニューアルしました。研修やセミナーのお知らせ、リーフレット等も閲覧できます。

最新情報を随時更新していきたいと思っておりますので、ぜひ、御覧ください。

栃木県発達障害者支援センター

検索

平成29年度 家族支援事業

●ペアレント・プログラム

平成 29 年度の新規事業として、NPO 法人アスペ・エルデの会との共催により、発達障害児やその疑いのある小学生の保護者を対象とした全6回の「ペアレント・プログラム」を開催しました。このプログラムでは、子育てに難しさを感じる保護者が、講義やペアワーク等を通して、子どもの「行動」を客観的に捉え、「今できていること」に注目し、子どもの褒め方を学ぶことができる内容となっています。これにより、保護者が子育てに前向きになったり、子育ての仲間を見つけられるといった効果が期待されます。また、保護者が参加するプログラムに地域の支援者が一緒に参加することにより、地域でプログラムを実施するためのノウハウを習得することも可能となります。

平成 29 年度は、浜松医科大学子どものこころの発達研究センター特任研究員（臨床心理士）中原 竜治 先生を講師にお招きし、保護者 9 名と支援者 11 名がプログラムに参加しました。参加された保護者からは、「子どもへの見方が変わった」、「頑張っていることに気づいた」、「子育てに自信が持てなかったが、自分もすごく頑張っていることに気づけた」といった感想があり、子どもや自分自身を肯定的に受け止められるような変化が見られました。

ふぉーゆうでは、今後も地域と連携しながらペアレント・プログラム事業を展開し、保護者が身近な地域でプログラムを受けられるよう普及に努めていきたいと考えております。

●ピアカウンセリング研修会

親の会で活動されている会員の方を対象に、ピアカウンセリング研修会を6～7月に2日間開催し、計 33 名の方が参加されました。1 日目はふぉーゆう職員が「ピアカウンセリングの基本的な考え方」についてお伝えし、自閉症協会 宮下 陽子 会長、同 藍原 賀代子 副会長からは「ピアカウンセリングの実際」についてお話しいただきました。また、栃木県障害者権利擁護センター 石川 一夫 障害者虐待防止相談員兼障害者差別解消相談員から「障害者差別解消」についてお話しいただきました。2 日目は傾聴ハピネス代表 渡邊 純子 先生をお招きし、「心に寄り添って聴くこと」をテーマに、傾聴に関する講話及びワークを行いました。今年度はグループワークを取り入れ、講話で学んだ“傾聴”をさっそく実践し、グループ内で共有することができました。

●家族教室

主に思春期以降に「発達障害」と診断された方の家族が、発達障害の正しい理解や対応方法を学び、支援機関の情報をすることを目的とし、家族教室を実施しています。平成 29 年度は 2 月に開催し、2 日間で計 48 名の御家族に参加いただきました。1 日目は「発達障害の特性理解と家族の対応」をテーマに、作新学院大学 高浜 浩二 准教授にお話しいただきました。うまく関わるためには、まず「本人の特性を知ることが大事」ということで、ADHD、学習障害、自閉症の困り感を体験するワークがありました。御家族からは「本人の困り感が体験できて、本人の辛さが実感できた」「今日のお話を参考に対応してみたい」等の感想がありました。2 日目は「社会との関わりと自立に向けた支援」をテーマに、とちぎ若者サポートステーション 湯本 尊 統括コーディネーターにお話しいただきました。「就労支援をしてくれる機関がたくさんあることを知り、とても心強い」「これからの方向性が少し分かりとても参考になった」等の感想がありました。



当事者支援事業

●青年期グループ活動

ふぉーゆうでは、来所相談された青年期の方を対象に、月1回（年10回）グループ活動を実施しています。平成29年度は対象10名程度の方が参加し、年間の活動内容においては初回に参加者全員で計画を立てました。主な活動内容は、室内レクリエーション、テーマを決めた話し合い、学習会、就労移行支援事業所の見学、健康の森での散策活動などを行いましたが、特に人気があった活動は精神保健福祉センターでのパン作り体験でした。

今年度の活動においても参加者同士が楽しく交流しコミュニケーション力を高めることができるような活動にしていきたいと考えております。



< 学習会の様子 >

●就労準備支援事業(高校・大学生等対象 職場見学・体験)

発達障害のある方が事業所の見学や体験を行うことにより、就労の意識を高めることを目的として職場体験事業を実施しています。平成29年度は8月7日（月）及び9日（水）の2日間、就労移行支援事業所『バンダイナムコみらいステーション』に御協力いただき、2日間で計8名の参加がありました。主な体験内容は、一般基礎知識の講義やビジネスマナー講座、パソコンでのタイピングや入力作業、また、実践的なパワーポイントを用いた資料作成等もあり、難易度の高い作業もありました。就労を目指す発達障害の方々から就労移行支援事業所を体験することにより、就労に向けた意識付けや自身の能力開発に各々気づきがみられたことと思います。

みらいステーション職員及び利用者の皆様、大変お世話になりました。

普及啓発・研修事業

●発達障害セミナー

9月に立正大学心理学部 中田 洋二郎 教授をお招きし、「発達障害のある人の家族に寄り添う～一人ひとりができること」をテーマに、発達障害セミナーを開催しました。御講演では、「本人にとって障害受容は自己理解であること」「障害は社会との関係の中で生まれること」等、心に留めておかなければならない大切なことばかりでした。参加された御家族からは「家族の気持ちをわかってくださり、とても救われた」という感想をいただきました。このようなセミナーを通して、一人でも多くの方に発達障害を理解していただけるよう願っています。

TOPICS

✎ 発達障害者地域支援マネージャー

平成30年度から、市町、事業所、医療機関等との連絡、調整、助言等を総合的に実施することを目的とした「発達障害者地域支援マネージャー」が県内に3名配置されました。

ふぉーゆうでは、この地域支援マネージャーと連携を図りながら、発達障害者をより身近な地域で支援する体制を強化していきたいと考えておりますので、引き続き皆様の御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

相談状況(平成 29 年度実績)

- ▽電話相談件数(延べ 1,421 件)と来所相談件数(延べ 349 件)を合わせると、延べ総数 1,770 件になります。
- ▽対象者の性別については、男性(延べ 1,129 件)が女性(延べ 534 件)を大きく上回っています。
- ▽対象者の年齢区分については、19 歳～39 歳が圧倒的に多く、次いで、小学生、16 歳～18 歳、40 歳以上の順になっています(図1)。
- ▽相談内容(複数選択式)については、「生活・家庭」、「医療・支援機関」、「今後の就労」、「診断」の順になっています(図2)。
- ▽「生活・家庭」に関する相談例としては、「本人にどのように対応したらよいか分からない」といった家族からの相談や、「発達障害について家族の理解がなかなか得られない」といった本人からの相談などがあります。
- ▽「医療・支援機関」や「診断」に関する相談例としては、「発達障害に対応できる医療機関(又は支援機関)を教えてほしい」といった相談や、「発達障害を疑っているが、診断を受けるにはどうすればよいか」といった相談などがあります。
- ▽「今後の就労」に関する相談例としては、「就労経験が全くなく、どこにどう相談すればよいか分からない」といった相談や、「以前就労していたが、業務の遂行や職場でのコミュニケーションが上手くいかずに退職してしまった。今後の再就労に向けて相談したい」といった相談などがあります。
- ▽これらの相談内容に応じて、ふぉーゆうスタッフからは発達障害の特性理解のための助言や関係機関や制度に関する情報提供等を行い、相談者や対象者を支援しています。

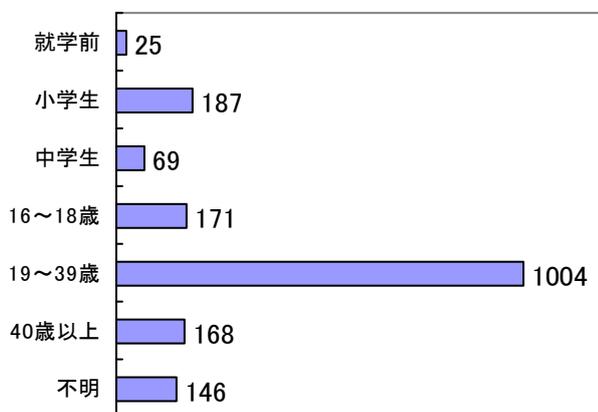


図1 年齢区分別延べ相談件数

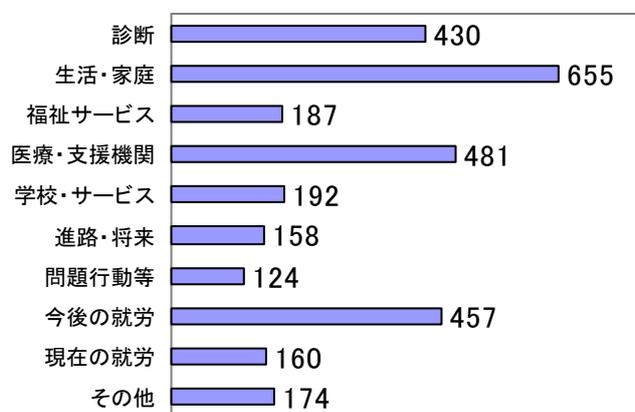


図2 相談内容別延べ相談件数

栃木県発達障害者支援センター ふぉーゆう

〒320-8503 栃木県宇都宮市駒生町3337-1 (栃木県障害者総合相談所内)

TEL 028-623-6111 FAX 028-623-7255

メール hattatsu-kouji@pref.tochigi.lg.jp (H30.4月からメールアドレスが変わりました)

ホームページ

栃木県発達障害者支援センター

検索